

10年ぶり12回目の総合優勝

スピードスケート・日本学生氷上競技選手権

5000メートルは表彰台独占



▲ 2種目で優勝し、チームを引っ張った道下主将



▲ 昨年の雪辱を果たし、喜びの部員たち

日本学生氷上競技選手権(氷上インカレ)が1月6日から9日まで、青森県八戸市で開催された。専大は長根公園アイスリンクで行われた男子スピード部門で、7種目中2種目で1位となるなど、各選手が健闘。総合で53ポイントを獲得し、10年ぶり12回目の優勝でも道下・今野陽太(経

日本学生氷上競技選手権(氷上インカレ)が1月6日から9日まで、青森県八戸市で開催された。専大は長根公園アイスリンクで行われた男子スピード部門で、7種目中2種目で1位となるなど、各選手が健闘。総合で53ポイントを獲得し、10年ぶり12回目の優勝でも道下・今野陽太(経



▲ 今季安定した滑りを見せる今野

営4・白樺学園高)・佐山組が4分7秒59で優勝した。昨年の総合3位の悔しさをパワーに変えて臨んだ今大会。6種目終わって、明大と同ポイントで1位。優勝の行方は最後の種目、チームパシュー

トに託された。3人は糸川敏彦監督と「最初から最後まで一定のペースで、安定した滑りをしよう」と話し合い、2位・早大を2秒近く離してゴール。総合優勝を決めた。優勝の瞬間を振り返り、道下は「感激した。ずっと目標にしていた大会だったので、本当にうれ

しいと述べ、今野は「決まった時は本当にうれしかった。最後のインカレだったので、優勝で終われて良かった」と話した。また、1500メートルで今野が2位、1万5000メートルで3位にそれぞれ入賞し、総合優勝に貢献した。なお、他の部門では、

ギョア部門も上位入賞はならなかった。(佐山 竜太・経済2) (写真提供・川口ひろし)

ユニバーシアド冬季大会 スピードスケート 専大から3選手が出場 2月18日から中国・ハルビンで開催するユニバーシアド冬季競技大会に専大から3選手が出場する。スキー部の大森菜保子は自身2度目の大会に向けて、「出場するだけで満足せず、前回以上の結果を残したい。特に前回11位のスプリントでは表彰

優勝ラッシュで「総合」連覇 今野 1500、小野 3000、道下 5000、関東学生スピードスケート選手権(1月17、18日)富士急ハイランドセレクトコートでも専大は総合優勝を果たした。昨年この大会を制して豪・同志社大と対戦し、0-0の末、GWS(ゲイムウイニングシヨット)0-1で敗退。フィ

ユニバーシアド冬季大会 スピードスケート 専大から3選手が出場 2月18日から中国・ハルビンで開催するユニバーシアド冬季競技大会に専大から3選手が出場する。スキー部の大森菜保子は自身2度目の大会に向けて、「出場するだけで満足せず、前回以上の結果を残したい。特に前回11位のスプリントでは表彰

国際大会 出場選手 大森菜保子 U23世界選手権(クロスカントリ) (1月23日~2月3日)フランス) 卓球部 松岡 新也(経済2・東奥学園高) 天野 友未(文1・日南学園高) サフィール国際オープン(2月16~25日)スウェーデン) フencing部 阪野 弘和(経済3・武生商高) フランスグランプリ(1月23~25日)イタリアクランプリ(2月13~15日) 新村 拓郎(法1・水橋高) シュニヤ男子エペワールドカップ(1月31日~2月1日)スウェーデン) 佐賀 美咲(文1・聖霊女子短大付高) シュニヤ女子フルレーワールドカップ(1月29日~2月3日)フランス) レスリング部 荒木田進謙(経済3・光星学院高) 平川 臣一(商3・三井高) デーブ・シュルツ国際大会(2月3~11日)アメリカ) 記録コーナー

女子が総合3位に

大森は「クロカン」で2冠



▲ 全日程を終えて笑顔のスキー部員たち



ユニバーシアドでの活躍が期待される大森

全日本学生スキー選手権が1月12日から18日まで、岩手県の八幡平市で行われた。女子は大森菜保子(経済4・花輪高)の活躍で、昨年に引き続き上がった。大森は下平

総合3位。男子は総合11位で1部に踏みとどまった。個人では女子クロスカントリーの大森がエースの貫禄をみせた。得意のスプリント1・2キロラシカル、5キロラシカルで2冠を達成。今季好調と今大会を振り返った。ユニバーシアドでも結果を出し、来年に迫ったバンクーバー五輪への道を切り開いてほしい。

また、女子アルペンでは丸子由里香(経営2・北照高)が回転で3位、大回転でも8位。木田江里乃(経営3・北海学園札幌高)がスノーパード回転で6位となった。男子では鈴木匠(経営1・鷹巣農林高)がクロスカントリー30キロフリーで6位と健闘した。(山中 克浩・経済1)

フencing部 阪野 弘和(経済3・武生商高) フランスグランプリ(1月23~25日)イタリアクランプリ(2月13~15日) 新村 拓郎(法1・水橋高) シュニヤ男子エペワールドカップ(1月31日~2月1日)スウェーデン) 佐賀 美咲(文1・聖霊女子短大付高) シュニヤ女子フルレーワールドカップ(1月29日~2月3日)フランス) レスリング部 荒木田進謙(経済3・光星学院高) 平川 臣一(商3・三井高) デーブ・シュルツ国際大会(2月3~11日)アメリカ) 記録コーナー

専大スポーツ

No.275

大会結果 予定は専大ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)で確認ください。専大スポーツweb(http://sensuipo.web.c2c.com)で専大スポーツを配信しています。

スピードスケート 今野らが活躍

国民体育大会冬季大会「みちのく八戸国体」がク、フィギュアスケート、アイスホッケーの4

部門が行われ、専大から青森県代表が7位となる。各都道府県の代表として活躍した。今野1500メートルで今野陽太(神奈川県代表)が2位、同5000メートルで松尾駿(経済1・八戸西高)と

FIS志賀高原アルペン 清水が女子大回転優勝

FIS志賀高原アルペントレースは1月25~27日、長野県・志賀高原で

行われた。女子大回転で清水香帆(法1・飯山南高)が1分48秒88(1本目1分52秒、2本目1分55秒89)で優勝した。

フencing部 阪野 弘和(経済3・武生商高) フランスグランプリ(1月23~25日)イタリアクランプリ(2月13~15日) 新村 拓郎(法1・水橋高) シュニヤ男子エペワールドカップ(1月31日~2月1日)スウェーデン) 佐賀 美咲(文1・聖霊女子短大付高) シュニヤ女子フルレーワールドカップ(1月29日~2月3日)フランス) レスリング部 荒木田進謙(経済3・光星学院高) 平川 臣一(商3・三井高) デーブ・シュルツ国際大会(2月3~11日)アメリカ) 記録コーナー